

2027年度 大学院学生募集要項

青山学院大学大学院
経済学研究科

博士前期課程

- 経済学専攻
- 公共・地域マネジメント専攻

学内進学者選抜試験

目 次

青山学院教育方針・青山学院大学の理念・沿革・役職員・学位	2
アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）	3
募集人員・入試日程・試験科目・合否判定の方法および基準	4
出願資格・出願手続・出願書類	5
入学検定料・合格発表・入学手続	6
注意事項・授業時間について	7
学費等について	8
青山学院大学大学院特別給付奨学金	9
教員組織（経済学専攻）	10
教員組織（公共・地域マネジメント専攻）	11
公共・地域マネジメント専攻出願者への補足説明	12

受験上の配慮について

障がいや疾病、怪我などにより受験及び修学上の合理的配慮が必要な場合、「障がいのある学生の受入れ方針」に基づき、受験時に合理的配慮を提供します。合理的配慮を希望する方は、出願期間前に学務部教務課経済学研究科担当に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求めることがあります。

個人情報の取扱いについて

1. 受験者の個人情報は、個人情報保護法ならびに同法の趣旨に則り定められた「学校法人青山学院個人情報の取扱いに関する要綱」に基づき、適正に取り扱います。
2. 受験者の個人情報は、入試業務ならびに当該業務に付随する連絡・通知等、本研究科の教育事業に必要な範囲でのみ使用いたします。利用目的達成後は個人データの漏洩・滅失・毀損の防止その他個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。ただし、個人が特定できないよう統計処理したデータは、文部科学省等に対し、その事業の適正な遂行に係る調査・研究のための資料として提供することがあります。

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人ともに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

沿革

- 1953年4月 経済学研究科経済学専攻「修士課程」設置
- 1957年4月 経済学研究科商学専攻「修士課程」設置
- 1960年4月 経済学研究科経済政策専攻「博士課程」設置
- 1964年4月 経済学研究科商学専攻「博士課程」設置
- 1970年3月 経済学研究科商学専攻「修士課程」「博士課程」廃止
- 1984年4月 大学院学則を改正し、「修士課程」を「博士前期課程」に「博士課程」を「博士後期課程」に変更
- 1991年4月 経済学研究科経済政策専攻博士後期課程を経済学専攻に名称変更
- 2008年4月 経済学研究科に公共・地域マネジメント専攻博士前期課程を設置
- 2010年4月 経済学研究科に公共・地域マネジメント専攻博士後期課程を設置

役職員

学 長	稲 積 宏 誠
経済学研究科長	井 上 孝
経済学専攻主任	永 山 のどか
公共・地域マネジメント専攻主任	須 田 昌 弥

学位

経済学専攻	修士（経済学）
公共・地域マネジメント専攻	修士（経済学）

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

《 博士前期・修士課程 》

本学大学院博士前期課程・修士課程では、各専攻が求める人材を、さまざまな形式の入学試験を通して以下の能力等に照らして受け入れる。

- ・当該専攻の研究に必要な専門知識・専門技能
- ・課題に対して論理的に思考、判断し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力
- ・本大学院の特徴を理解し、大学院における学びを追求し、社会のために還元する意欲・関心・態度

《 経済学研究科 経済学専攻 博士前期課程 》

知識・技能

経済学における基本知識に精通している。

思考力・判断力・表現力

経済学分野における課題に対して論理的に思考し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力を有する。

意欲・関心・態度

経済学分野で修得したものを社会に役立てる意欲を有している。

《 経済学研究科 公共・地域マネジメント専攻 博士前期課程 》

知識・技能

公共経済学および地域経済学における基本知識に精通している。

思考力・判断力・表現力

公共経済学および地域経済学分野における課題に対して論理的に思考し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力を有している。

意欲・関心・態度

公共経済学および地域経済学分野で修得したものを社会に役立てる意欲を有している。

経済学研究科および各専攻の「教育研究上の目的」「カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）」「ディプロマポリシー（修了認定・学位授与の方針）」は、以下の本学ウェブサイトにてご確認ください。

経済学研究科

http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/objective.html

経済学専攻

http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/de/policy.html

公共・地域マネジメント専攻

http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/public_regional_management/policy.html

募集人員

経済学専攻	若干名
公共・地域マネジメント専攻	若干名

入試日程

	第1回	第2回
出願手続 受付最終日消印有効	2026年 6月22日(月) ～ 6月24日(水)	2026年9月28日(月) ～ 9月30日(水)
入学試験日	2026年 7月15日(水)	2026年11月4日(水)
合格発表	2026年 7月24日(金) 午後1時	2026年11月13日(金) 午後1時
入学手続	(第1次) 2026年 7月31日(金) (第2次) 2027年 3月 5日(金)	2027年 3月 5日(金)

試験科目

面接

【試験についての注意事項】

1. 集合時刻(試験開始時刻10分前)と集合場所は受験票にてお知らせします。
2. 試験当日、集合場所に直接お越しください。
3. 試験開始時刻に遅刻した場合は、受験資格を失います。
4. 試験当日は、受験票を必ずお持ちください。万一紛失した場合は、再発行しますので学務部教務課(経済学研究科担当)[17号館2階学生センター内]へ来室してください。

合否判定の方法および基準

経済学専攻

アドミッションポリシー、すなわち、①経済学における基本知識に精通している、②経済学分野における課題に対して論理的に思考し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力を有する、③経済学分野で修得したものを社会に役立てる意欲を有している、を満たしているかを多面的・総合的に評価・判定する。

公共・地域マネジメント専攻

アドミッションポリシー、すなわち、①公共経済学および地域経済学における基本知識に精通している、②公共経済学および地域経済学分野における課題に対して論理的に思考し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力を有している、③公共経済学および地域経済学分野で修得したものを社会に役立てる意欲を有している、を満たしているかを多面的・総合的に評価・判定する。

大規模災害等により、指定された選抜方法での試験が実施できない場合は、当初の試験日や選抜方法以外(出願書類、Web面接など)で合否判定をおこなう場合があります。

出願資格

経済学専攻

2026年度 本学学部卒業見込みの者。ただし、大学における前年度までのGPAが2.4以上であること。

公共・地域マネジメント専攻

2026年度 本学学部卒業見込みの者で、以下の(1)、(2)のうちいずれか一つを満たすこと。

- (1) 大学における前年度までのGPAが2.4以上であること。
- (2) ERE ミクロ・マクロ（日本経済学教育協会・経済学検定試験）のランクがA以上の成績であること。

◎GPAは学生ポータル「学修・活動履歴」の「年度別成績情報」より確認できます。

出願手続

出願はすべて郵送受付とします。また、出願した旨をメールでもお知らせください。

1. 出願の際は、出願書類を角形2号封筒（240×332mm）に入れ、郵便局窓口で簡易書留・速達郵便扱いの手続きをして郵送してください。
封筒の表面には、必要事項を記入した出願用封筒表紙（本学所定用紙）を貼付してください。
2. **学務部教務課（経済学研究科担当）へ出願書類郵送の旨をメールでお知らせください。**
出願後、試験に関するご連絡をメールにて行う場合があります。メールの本文には必ず氏名、学生番号を記載してください。（外国籍の方はアルファベットで氏名を記載してください）
【学務部教務課（経済学研究科担当）メールアドレス：in-keizai@aoyamagakuin.jp】
3. 出願受付後、受験票を本人宛にお送りします。
受付事務・郵便事情等により受験票の送付が多少遅れることがあります。入学試験日の3日前までに受験票が未着の場合は学務部教務課（経済学研究科担当）まで問い合わせてください。
4. 一旦受け付けた出願書類、入学検定料などは返還しません。
5. 出願書類・入学検定料不備および受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
6. 授業料後払い制度の利用を希望する方（外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は申請対象外）は、出願期間中に授業料納付猶予手続きを取ってください。手続きの詳細は、P-8掲載の申請要項のURLもしくはQRコードを参照ください。

出願書類

～出願書類の記入、作成にあたっての注意～

出願者自身が作成した文章を提出すること。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出を禁じる。

出 願 書 類 (すべて日本語でボールペンを使用して記入してください。)	
入学志願票 写真票・ラベル用紙	・本学所定用紙、 証明写真（4cm×3cm、カラー写真のみ）を貼付 *入学手続の際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出
研究計画書 (本学所定用紙)	・志願する専攻の書式を使用すること ・公共・地域マネジメント専攻志願者は12ページ参照 ・面接は本書に基づいて行うので手元にコピーを保管し、当日必ず持参すること。

収納証明書貼付用紙	・入学検定料の「収納証明書」を貼付したものを提出。 出願受付後、入学検定料は返還しない。納付済みで出願しなかった場合は、学務部教務課（経済学研究科担当）にて返金の手続きをすること。
住民票または パスポートのコピーおよび在留 カードのコピー (外国籍者のみ)	以下①②のいずれかを提出すること。 ① 住民票（在留資格、在留期間等、在留期間等の満了の日、在留カード等の番号が記載されたもの） ② パスポート（顔写真ページ）のコピーおよび在留カード（表裏）のコピー
出願資格（2）に係る証明書 （公共・地域マネジメント専攻 該当者のみ）	出願資格(2)に該当する者は、本学学部に入學してから各回の出願受付期間最終日までに、出願者が受験したEREミクロ・マクロ（日本経済学教育協会・経済学検定試験）のうち、A以上の成績証明書を提出すること。
卒業（見込）証明書・成績証明書	・本学の証明書は学務部教務課で代理発行するため提出不要。 ・本大学に編入学した者や単位認定を受けた者は、以前の大学、短期大学の卒業証明書及び成績証明書も提出。

入学検定料

35,000円

支払方法

【コンビニエンスストアまたはクレジットカードで支払う場合】

別紙「コンビニ端末での入学検定料支払方法」、「クレジットカードでの検定料支払方法」を参照のうえ、お支払いください。支払いの際に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を、本学所定の貼付用紙に貼り付け、支払方法（コンビニかクレジット）にマルをし、提出してください。

合格発表

大学ホームページ「大学院入学試験等に関するお知らせ」（下記URL）にて発表します。
また、合格者には入学手続書類を郵送にて送付します。

<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>

入学手続

入学手続はすべて郵送受付となります（締切日消印有効）。

※ 第1回試験のみ、第1次入学手続と第2次入学手続に分かれています。

第1次入学手続、第2次入学手続とも完了しない場合、合格は無効となりますのでご注意ください。

※ 詳細は合格者に送付される「入学手続要項」を参照してください。

注意事項

(共通事項)

1. 一旦受け付けた書類や入学検定料などは返還しません。
2. 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
3. 本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、ならびに他大学および本学の学部と併せて在学することはできません。
4. 入学手続は、入学時納入金を納入（学内進学者選抜試験（第1回）は第2次入学手続時のみ納入）するとともに、所定の入学手続書類を提出してください。なお、入学時納入金は、学費等についてを参照してください。
5. 受験、入学手続などに関することは、学務部教務課（経済学研究科担当） [in-keizai@aoyamagakuin.jp] に問い合わせてください。ただし可否に関する問い合わせには、一切応じません。
6. 出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、入学試験の結果を無効とし、入学後であっても遡って入学の資格を取り消すことがあります。その場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。
7. 教育職員免許状や各種資格（司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員）の取得に関する不明点については、出願前に教職支援センター [直通電話 03(3409)9634] に問い合わせてください。

授業時間について

時限	第1時限	礼 拝	第2時限	昼休み	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限
時間	9 : 00 ～ 10 : 30	10 : 30 ～ 11 : 00	11 : 00 ～ 12 : 30	12 : 30 ～ 13 : 20	13 : 20 ～ 14 : 50	15 : 05 ～ 16 : 35	16 : 50 ～ 18 : 20	18 : 30 ～ 20 : 00

学費等について

1. 学費等納入額の内訳

学費等（2027年度）

費 目		金 額	備 考
学 費	入 学 金	0 円	本学学部卒業（見込）者は全額免除
	授 業 料	242,500 円	年額 485,000 円（後期分 242,500 円は後期納入）
	在 籍 基 本 料	60,000 円	年額 120,000 円（後期分 60,000 円は後期納入）
	教 育 活 動 費	13,000 円	年額 26,000 円（後期分 13,000 円は後期納入） 毎年納入
	（小 計）	315,500 円	
諸 会 費	後 援 会 費	2,500 円	年額 5,000 円（後期分 2,500 円は後期納入） 毎年納入
	学 会 費	2,000 円	年額 4,000 円（後期分 2,000 円は後期納入） 毎年納入
	（小 計）	4,500 円	
入学時納入金合計		320,000 円	（後期分学費等含まず）
初年度納入金合計		640,000 円	後期分学費等 320,000 円を含む

（消費税は課税されません）

2. 学費等の改定について

今後、経済情勢に応じ学費等の改定が行われた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。

3. 「入学辞退願」提出について

本大学院の入学手続（第1回試験は第2次入学手続）を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が2027年3月31日（水）17時（窓口閉室時間）までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還いたします。

（郵送の場合は簡易書留郵便で上記日時消印のみ有効）

詳細は、合格者に送付する入学手続要項をご参照ください。

4. 授業料後払い制度について

国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、以下QRコードまたはURLより申請要項を確認の上、出願期間中に必要な手続きをとってください。

※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は対象外です。

【申請要項URL】

https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2026/03/af_syougakukin_atobalai2027.pdf

【申請要項QRコード】



5. その他

後期分学費等は、入学後、後期に納入してください（学費等分割納入方式）。なお、入学手続時（第1回試験の場合は第2次入学手続時）に後期分学費等を併せて納入することもできます（学費等一括納入方式）。

青山学院大学大学院特別給付奨学金

青山学院大学大学院特別給付奨学金は、青山学院大学大学院の活性化に向けて、大学院進学における金銭的負担の軽減を図り、本学学部生の本大学院への進学を促進することを目的とする給付奨学金の制度です。
※貸与奨学金ではありません。

奨学給付額

授業料年額の2分の1に相当する額が上限となる。

※給付額は入学後に決定されます（給付対象学生数により減額の場合あり）。

給付方法

入学時は入学手続き時に所定の学費等を納付し、入学後に奨学金を給付します。なお、1年次後期以降は原則として学費請求時において、奨学金相当額の納付を免除することにより給付予定。

給付期間

入学後2年間（休学による給付休止期間を含む）

申請期間

出願受付期間に準ずる

申請方法

入学志願票の所定欄に記入

採用者の決定

選考結果の通知 入学試験合格発表時

申請資格

奨学金の給付を受けることができる学生は、本大学院研究科(理工学研究科を除く)への学内進学を希望する青山学院大学の学部在学している者で、次に規定する全てを満たすものとする。

(1) 本大学院研究科の次のいずれかの課程への学内進学に係る被推薦資格を有する者であること。

イ 博士前期課程又は修士課程(修業年限が2年のものに限る。)

ロ 一貫制博士課程

ハ 専門職学位課程(修業年限が2年のものに限る。)

(2) 2026年4月1日において、当該基準日の属する年度の末日までに卒業する見込みが立つ者であること。

(3) 2026年5月1日において、在学する学科における成績上位者15パーセント以内の者であること。

※ 上記「申請資格(3)」の成績要件を満たしているか事前に確認を希望する場合は、出願期間前に余裕をもって、所属学部の教務課(学務課)窓口までお問い合わせください。

※ 本学及び学校法人青山学院における他の奨学金の給付を重複して受けることはできません。

※ 詳細は「青山学院大学大学院特別給付奨学金規則」に規定

教員組織 (2027年度予定) ※2026年5月現在

※各教員の研究テーマ・研究業績は「経済学研究科パンフレット」、または青山学院ウェブサイト内「教員紹介」(http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/staff.html)で確認すること

※○印の教員は2027年度学生募集を予定している教員です。ただし、今後の事情により募集をおこなわない場合があります。その際は当該教員を希望した方に個別連絡をいたしますので、あらかじめご了承ください。

経済学専攻

職名	氏名	専門分野	担当科目 (予定)	
教授		伊藤 万里	国際経済学、貿易論、 多国籍企業論	国際経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	落合 功	日本経済史	日本経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	高 準亨	国際金融経済論	国際金融経済論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	白井 邦彦	労働経済論、労使関係論、労使関係史	産業労働論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	白須 洋子	コーポレート・ファイナンス、 リスク管理	ファイナンス研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
		代田 豊一郎	マクロ経済学、金融政策論	金融理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	芹田 敏夫	理論経済学	ミクロ経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	中村 隆之	経済学史	経済学史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	永山 のどか	近現代西洋経済史	現代西洋経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	西埜 晴久	経済統計論、計量経済学	計量経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	馬場 弓子	応用ゲーム理論	応用ゲーム理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	平出 尚道	西洋経済史	西洋経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	松尾 孝一	社会政策、労働経済論	社会政策研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	松本 茂	応用厚生経済学	環境経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	水上 英貴	メカニズム・デザイン、 ゲーム理論、ミクロ経済学	ゲーム理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	元山 斉	統計学、計量経済学	統計学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	安井 健悟	労働経済学、応用計量経済学	労働経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	矢吹 初	財政学、地方財政論	財政学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
○	吉田 健三	社会保障論、社会政策論、財政学、 アメリカ経済論、証券経済論	社会保障論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ	
准教授	○	川上 圭	マクロ経済学、金融論	経済成長理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	川崎 玉恵	数理統計学、多変量解析	データ解析研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	菅野 早紀	応用ミクロ経済学、社会保障	経済政策研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	横手 康二	マーケット・デザイン、ミクロ経済学	公共経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○	脇 雄一郎	マクロ経済学	マクロ経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ

注：○印は研究指導担当教員

●印の教員は第二回で出願してください。

公共・地域マネジメント専攻

職名	氏名	専門分野	担当科目(予定)
教授	井上 孝	地域人口論、人口学	地域人口論演習
	須田 昌弥	地域経済学、都市経済学、空間経済学	産業集積論研究、空間経済学演習
	高橋 朋一	G I S、システム工学	基礎地理情報システム、空間情報演習
	田中 耕市	経済地理学	都市空間論研究、同演習
	西川 雅史	経済政策論、公共選択論	公共経営論研究、同演習
	藤村 学	開発経済学、国際経済学	アジア経済論研究、開発政策評価演習
	宮原 勝一	公共経済学、応用計量経済学	基礎計量経済学、公共政策論研究、同演習、ワークショップA・B
	吉岡 祐次	租税論、財政学、公共経済学	基礎ミクロ経済学Ⅰ、租税理論研究、同演習
准教授	田中 鮎夢	国際経済学、文化経済学、自然災害の経済学	グローバル経済論研究、同演習
	矢崎 之浩	政治経済学、公共経済学	地方財政理論研究、同演習
兼任講師	麻生 良文		法と経済学研究、公共経済学特殊講義B
	尾上 選哉		公会計論研究
	大滝 英生		基礎マクロ経済学Ⅰ、基礎マクロ経済学Ⅱ
	草野 邦明		地域人口論研究
	酒井 吉廣		アカデミックライティングA・B
	藤田 康範		基礎ミクロ経済学Ⅱ、地域経済学特殊講義B

※兼任講師は授業科目のみ担当

公共・地域マネジメント専攻開講科目

*太字は必修科目

A群科目

基礎ミクロ経済学Ⅰ
基礎地理情報システム

基礎マクロ経済学Ⅰ
基礎ミクロ経済学Ⅱ

基礎計量経済学
基礎マクロ経済学Ⅱ

B群科目

地方財政理論研究
公共経営論研究
地域人口論研究
租税理論研究
公会計論研究
地域経済学特殊講義A

公共経済理論研究
産業集積論研究
グローバル経済論研究
法と経済学研究
公共経済学特殊講義A
地域経済学特殊講義B

公共政策論研究
都市空間論研究
アジア経済論研究
非営利組織研究
公共経済学特殊講義B

C群科目

プロジェクト演習A
地方財政理論演習
公共経営論演習
地域人口論演習
開発政策評価演習
ワークショップB

プロジェクト演習B
公共経済理論演習
空間経済学演習
空間情報演習
租税理論演習
アカデミックライティングA

プロジェクト演習C
公共政策論演習
都市空間論演習
グローバル経済論演習
ワークショップA
アカデミックライティングB

◎公共・地域マネジメント専攻出願者への補足説明

研究計画書の書き方に関する注意事項

① 研究テーマの概要

主に、以下の点に留意して記述してください（すべてを満たす必要はありません）。

a) 問題意識

どのような問題があり、なぜその問題を研究しようと考えたのか、研究の動機や背景などを具体的に記述してください。

b) 研究の目的と方法

何を明らかにしたいか、先行研究などの文献を適宜引用して具体的に記述してください。
また、学問領域や理論的枠組みなど、理論分析なのか、実証分析なのかといった具体的な研究方法を記述してください。

c) 参考文献リスト

「研究目的と方法」で引用もしくは参考にした文献がある場合や、研究に関連して今後読まなければならないと考える文献がある場合に記述してください。

② これまで履修してきた講義、演習（ゼミナール）等と研究テーマとの関連性

学部在学中に履修した専門科目のうち、研究テーマに関連すると思われるものをできる限り具体的に記述してください。

③ 研究を進める上で、必要と考える専門知識や専門科目

本専攻で履修したいと考える専門科目は、開講の有無に関わらずできる限り具体的に記述してください。

また、研究に関連する専門知識や技術を研究科在学中のどの時期に習得し、学术论文（修士論文）を作成する予定であるかを、1年次前期・後期、2年次前期・後期に分けて記述してください。

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
【青山学院スクール・モットー】

青山学院大学大学院
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
電話：03-3409-9526 (学務部教務課 経済学研究科担当)

青山キャンパス アクセスマップ
<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html>

青山キャンパス 構内案内
<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/aoyama.html>

入学志願票

2027年度

青山学院大学大学院 経済学研究科 博士前期課程

学内進学者選抜試験

*志願する専攻、回数に○を記入すること

経済学専攻 第1回	公共・地域マネジメント専攻 第1回
経済学専攻 第2回	公共・地域マネジメント専攻 第2回

フリガナ	性別	受験番号	写真貼付 1. 4×3cm枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3カ月以内 撮影のもの 4. 全面糊付け 5. 裏面に氏名記入 6. カラー写真
氏名		※記入不要	
生年月日 (西暦)	年 月 日	歳 (2026. 4. 1時点)	
本籍地	都・道・府・県 (※外国籍の場合は国籍を記入のこと)		
現住所	〒		
電話番号	携帯電話		
メールアドレス			
学歴 (高等学校以降のすべての学歴を記入すること)			
	高等学校	(西暦)	年 月 卒業
大学	学部	学科	年 月 入学
大学	学部	学科	年 月 卒業 (見込)
職歴 (非常勤・アルバイト・嘱託等については記入の必要はない)			
	(西暦)	年 月 ~	年 月 退職・在職
	(西暦)	年 月 ~	年 月 退職・在職
学部における研究主題			
学部における主な研究内容			
学生番号		演習担当者名 (履修している場合)	
希望する研究指導教員 (学生募集要項P9に○印の記載された教員1名を記入)		※経済学専攻志願者のみ記入	
青山学院大学大学院特別給付奨学金希望		する・しない (いずれかを○で囲んでください)	

青山学院大学大学院 写真票 2027年度

受験番号 ※記入不要

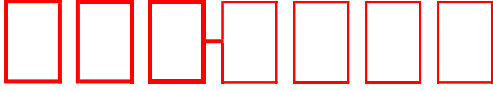

フリガナ
氏名

大学院 使用欄	※記入不要
------------	-------

研究科	経済学	研究科
専攻		専攻
課程	博士前期課程	
種別	学内進学者選抜（第1回・第2回）	

※該当する回数に○をつけてください

写真貼付
1. 4×3cm 枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3カ月以内 撮影のもの 4. 全面糊付け 5. 裏面に氏名記入 6. カラー写真

キリトリ	キリトリ								
									
(住所) _____	(住所) _____								
_____	_____								
(氏名) _____ 様	(氏名) _____ 様								
キリトリ	キリトリ								
<table border="1"> <tr> <td>研究科</td> <td>専攻</td> </tr> <tr> <td>経済学</td> <td>専攻</td> </tr> </table>	研究科	専攻	経済学	専攻	<table border="1"> <tr> <td>研究科</td> <td>専攻</td> </tr> <tr> <td>経済学</td> <td>専攻</td> </tr> </table>	研究科	専攻	経済学	専攻
研究科	専攻								
経済学	専攻								
研究科	専攻								
経済学	専攻								
宛名ラベル用紙(1) 受験票送付用	宛名ラベル用紙(2) 合格者手続き書類送付用								

- 写真票に証明写真（4cm×3cm）を貼付のうえ、宛名ラベル用紙と切り離して提出してください。種別欄は該当するものを○で囲んでください。
- 宛名ラベル用紙(1)、(2)は受験票および合格者手続き書類送付用です。送付先住所、氏名、専攻を記入のうえ、2枚を切り離して提出してください。

※記入不要

【経済学専攻】 研究計画書

氏名	フリガナ	学生番号	
希望する研究指導担当教員 ※ (※学生募集要項を参照)			
入学後の研究主題			
※ 枠内に収まるように 印字（印字したものを貼付可）または手書きで記入すること。 ※出願者自身が作成した文章を提出すること。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出を禁ずる。			
修了後の進路希望(具体的に)			

※記入不要

【公共・地域マネジメント専攻】 研究計画書

氏 名	フリガナ	学生番号	

入学後の研究主題

以下の項目に沿って記述してください。 **※ 学生募集要項 12 ページを参照の上記述してください。**

- ① 研究テーマの概要（問題意識、研究の目的と方法など）
- ② これまで履修してきた講義、演習（ゼミナール）等と研究テーマとの関連性
（履修中の専門科目も含み、科目名称はできる限り具体的に記述してください）
- ③ 研究を進める上で、必要と思われる専門知識や専門科目

※枠内に収まるように印字（印字したものを貼付可）または手書きで記入すること。

※出願者自身が作成した文章を提出すること。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出を禁ずる。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み



マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON



<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスマニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学

をタッチし、申込情報を入力して「**払込票/申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払い**ください。



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。

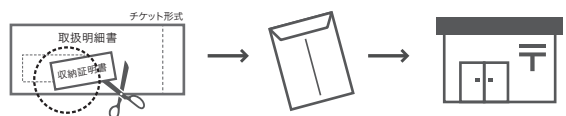


- *お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
- *お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
- *すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	605円
	入学検定料が5万円以上	825円

3 出願

「**取扱明細書**」または「**払込受領証**」の「**収納証明書**」部分を切り取り、**入試要項**などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

クレジットカードでの入学検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。 VISA  JCB    NICO S



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

インターネット申込
クレジットカード決済

1. トップページ

「申し込む」ボタンをクリック

2. 研究科選択

研究科を選択してください。

3. 入試選択

受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック

4. 留意事項

留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック

6. 申込内容確認

申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック

7. 受付番号確認

受付番号(12桁)を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック
(登録されたメールアドレスにも通知されます。)

8. クレジットカード情報入力

支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック

*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。

9. 決済完了

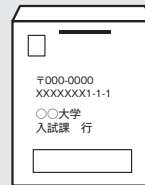
完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。

*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



出願

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください、
「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

収納証明書 *コンビニエンスストア支払いもしくはクレジットカードでの支払い

貼付用紙

◎枠内を記入してください。

【入学検定料】

研究科		専攻	専攻
受験番号 (記入不要)		課程 ○で囲む	修士 ・ 博士後期
フリガナ		連絡先	()
氏名			

※連絡先には日中連絡がしやすい電話番号を記入のこと

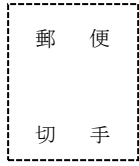
「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、はがれないように全面のり付けしてください。

収納証明書 貼付欄

はがれないように全面のり付け
してください。

支払方法 (当てはまるものに○をつけてください)

- ・ コンビニ
- ・ クレジット



150-8366

東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学 学務部教務課
経済学研究科 入試願書受付係 御中

(大学院入学試験・出願書類在中)

出願期間中の消印有効

簡易書留
速達
(二つ折厳禁)

※白黒印刷の場合は左記を赤枠で囲ってください

フリガナ	
氏名	
住所	□□□-□□□□ TEL. ()
研究科・専攻	経済学 研究科 専攻
課程	博士前期課程 ・ 博士後期課程
入試種別	一般入試 ・ 学内進学 ・ 卒業生対象 (ウェルカム・バック)
アンケート (複数回答可)	*本入試を何でお知りになりましたか？ 本学ウェブサイト ・ 大学院説明会 ・ 学生ポータル ポスター ・ チラシ ・ その他 ()

※ 課程、入試種別、アンケート：該当するものを○で囲んでください

(青山学院大学大学院)